

令和7年度 奈良市の地域教育を考える懇話会の意見の概要	
開催日時	令和7年 10 月8日(水)14時00 分から 16時00 分まで
開催場所	奈良市役所 北棟 6 階 602 会議室
意見等を求める 内容等	令和7年度 奈良市地域教育推進事業及び今後の方針について 地域教育協議会と学校運営協議会の一体的推進に向けた見直しについて
参 加 者	出席者 11人 ・ 事務局 15人
開催形態	公開（傍聴人 1 人）
担 当 課	教育部 地域教育課
1. 令和 7 年度 奈良市地域教育推進事業及び今後の方針について 「地域で決める学校予算事業」の事業内容や評価方法の課題点、展開すべき事業や分野について、また、奈良教育大学、奈良女子大学と協働している「大学生参画事業」及び「子どもの学び大学生サポーター」における大学生の参加促進について、事務局による概要説明の後、出席者に意見等を求めた。 ・ カテゴリー別の事業の内訳を見ると温暖化関係がない。食を取り巻く問題、熱中症、防災にも繋がるので、役立ててほしい。 ・ 大学では、授業での丁寧なPRや、学生自身が体験を語る機会を作ることで参加者が増加した。 ・ 教職志望の学生に限らず、地域づくりやコミュニティ形成に関心のある多様な学生が参加できる仕組みづくりも大切。 ・ 大学は、社会的活動に視野を広げ、学生を外へ出すための体制をつくっている。 ・ 単位認定は有効な動機付けになるが、制度に縛られることなく「地域活動そのものへの関心」を重視して、参加できる柔軟な体制が望ましい。 ・ 地域独自の取組として、20 歳を迎える世代にアプローチし、地域の行事の企画・準備に関わってもらうなど、若い力を主体的に巻き込む工夫を始めている。 ・ 小中学校時代に地域活動に触れて育った子どもたちが、進学などで一度地域を離れても将来的に戻ってくる、あるいは他県から来た学生が活動を通じて奈良を深く知るように、多様な学生が混じって参加してもらうのはよい。地域での活動の可能性を広げるのではないかな。 2. 地域教育協議会と学校運営協議会の一体的推進に向けた見直しについて 事務局から、両組織の役割の明確化と組織のスリム化（運営委員会の廃止等）を目指し、令和6年度に検討会議を実施したが、多くの学校から反対があったため、性急な見直しを進めず、他の方策を継続検討すると説明した。また、学校を対象に実施したアンケート結果を共有した。市の方針案として、学校運営協議会委員への地域コーディネーターの選任必須化、研修の充実、参考事例を示すこととし、出席者に意見を求めた。 ・ アンケートについては、回答数が多いわけではないため、パーセンテージで議論するのは難しいところがあると思う。 ・ 両組織を形骸化させず、一体的に機能させるためには、「共有していること」「組織化」「相互関係性」と	

いう3つの条件が揃う必要がある。アンケートで、学校と地域で「目標の共有を行っている」が 60%に留まっているのは一体的と言えない。

- ・ 市は「一体的推進とは何か」という定義を明確に示すとともに、現場に「見直し」ではなく、「整理」という言葉を使ってアプローチしていくのはどうか。
- ・ 学校運営協議会は、校長と対等な立場で学校経営方針を協議し、決定する組織。地域教育協議会は、地域の力を借りて学校を盛り上げる具体的な活動を実行する組織。「協議」と「実行」という役割に分け、さらにその際に両者を繋ぐ地域コーディネーターの役割を整理することも必要。
- ・ 地域教育協議会は長年学校と直接繋がって対話しながら活動していたため、まるで頭と手足のような関係にはしたくない。組織を変えていくことよりも、コーディネーターに繋いでもらうのがよい。
- ・ 学校運営協議会で課題を解決していこうとするなら、学校単位で抱える課題は異なるため、学校単位でやるべき。
- ・ 将来的な児童生徒数の減少や学校再編を見据えると、中学校区という広域的な枠組みでビジョンを共有するのも一つの考え方かと思う。
- ・ 組織関係は上下ではなく、全体を大きく丸でつなぐという形がどの組織にとっても有効ではないか。
- ・ 実務を担い、学校と地域を直接つなぐ「地域コーディネーター」が学校運営協議会に委員として入る役割は大きい。
- ・ 市内には地域差が大きく存在し、それぞれの地域が長年培ってきた独自の進め方がある。これは奈良市の貴重な遺産であり強みである。
- ・ 一律に一つの型にはめる必要はなく、組織の形を整えること自体を目的にしてはならない。
- ・ 形態がどうかよりも、地域や学校でどういうことが課題になっているのかをまず認識してもらい、いまどういう力が必要なのかをそれぞれの学校で考えてもらうということをやっていけばいいのではないか。
- ・ 校区としてももちろん学校と連携はしているが、学校へ入り込むことはあまりしていない。公民館と連携して活動をしている。他地域との比較からも地域差は大きいと感じている。地域の特色を生かしてそれぞれにいい形を作っていけたらと思う。
- ・ 公民館もそれぞれ課題がちがう。地域教育協議会に入っている公民館もあれば、入っていないところもある。学校運営協議会にだけ入っているところもある。地区にある公民館としては、「子どもたちは地域で育てる」という意識はどこも同じなので、統一して公民館の席を置いてもらえれば、受け皿としてできることを考えていけると思う。